

五 四 受信開始 〇八三五〇〇 譯了 〇九五五 〇一八八五 〇

昭和廿年五月五日

54

東通・一一航空艦隊

機密第 〇三一六三二番電

宛 一K 司令部 次長 次官

一 五月三日サイゴン敵機來襲狀況 毎回三群ニ分レテ約六五機一一二五ヨリ一三一〇マデノ間ニ來襲「ナベ」貯油場ニ小型爆彈ヲ投擲

ニ被害人員戰死 兵曹長一名兵二名交通船一隻沈没ノ外輕微陸軍一タンク一一直撃彈ヲ受ケタル外ドラム罐若干焼失

通一九一一 呂一〇七(六二三五)十通 益子(誠田)

作

五四 譯始 〇八五〇 譯了 一一一八 電 〇二〇二五 〇二〇二六 作 概

三〇根 戰團 情報 信 所 主 道 部 隊 五 航 空 隊 〇

四六番 備 隊 ・ ヤ ツ プ 航 空 基 地

機 密 第 〇 三 一 八 三 三 番 電

二 分 ノ 二 三

三〇根 地 隊 戰 團 報 ( 五 月 二 日 )

一 P P 附 近 行 動 敵 艦 隊 機 密 第 〇 三 一 五 二 五 番 電 ノ 外 輸 送 船 一

( 八 千 噸 級 滿 載 申 板 上 二 飛 行 機 六 一 七 搭 載 ) ニ ス ツ ル 水 道 入 港

二 視 界 内 敵 艦 隊 碇 泊 状 況

( 大 型 輸 送 船 七 中 型 輸 送 船 二 小 型 輸 送 船 五 中 型 油 槽 船 二 小 艦 艇

通 二 一 一 三 一 五 呂 一 B ラ 一 四 ) 一 五 二 一 〇 KC 三 通 原 ( 吉 井 ) 〇

昭和...



昭和五年五月五日

五 四 受信 〇〇七四五 譯了 〇八四〇 電 〇〇一八九五 作 概 〇



一 護衛艦隊 敵情着信艦所  
海上護衛總口・聯合艦隊口・佐賀

機密第 〇三一八三九番電 二分ノ一、二

△日三作戦部隊ハ三月十九日以降困難ナル狀況ノ下ニ晝夜間斷ナ  
ク哨戒掃蕩任務ニ從事シ其ノ間敵潛四隻ヲ環洋黄海ニハ敵潛數隻  
ノ侵入アリシモ對馬海峡及日本海ニ侵入セントスル敵潛ニ對シテ  
ハヨク之ヲ阻止日滿支交通保護上間接的ニ至大ノ戰果ヲ揚ゲツツ  
アルハ本職ノ意ヲ通ジ得ル所ナリ由來哨戒作戰ノ完遂ハ最至難ト  
スル所ニシテ其ノ勞苦ハ誠ニ察スルニ餘アルモ各員ハ深ク現戰局  
ヲ認識シ各協力一致努力奮闘以テ任務達成ニ違算ナカラシムトシ  
期スベシ。

通 一九一〇 天二Bケ八(四九一五四)佐二放 東 清水(小澤) 放

五 四 受信開始 〇八五一一六七 終了 〇九〇六 電 〇〇一九〇〇五 課 通

至 急

南海時情着信處所

機密 〇三一九〇六 番 二 分 一 二

通

61

南海時情着信處所

機密 〇三一九〇六 番 二 分 一 二

左記ヲ綜合タラカシテ各方面特動部隊ニ對シ尙餘部隊ヲ豫期セラル

ハ三十日一日レイテ放送ニテ有力三指揮官ヲ中心トスル策動部隊

ハ通信活潑ナリシモ二日右關係處所ハ二階所ニ激減シ該指揮官

ハ暗戒機辭指揮官トノ關係密ニシテ且レイテヨリ多數ノ電報ヲ

受信シアリ

ニレイテモロカイ暗戒機辭機密接ニシテレイテモロカイ方

面無事ノ動向活潑ナリ

三 三十日策動部隊宛 BAN TA 電二通通報先陸軍基地ヨリ在レイ

テ島英國側指揮官宛至急信一通アリテ攻隊部隊ノ高キヲ示唆シ

二二一〇九

呂一 B 十八 (六二三五五) 十

山崎 村山 (渡瀬)

五 四 受信 〇九一二 解了 一四二〇 電 〇二〇四七 作 概 本 〇



聯合艦隊司令部 共

符

機密 第 〇三一九一三 番 電

照參電第三八七號 三日バラオ特報

一〇六〇〇一六〇〇迄ノコスソル情況左ノ如シ

(イ) 出港輸送船二(八〇〇噸級滿載) 油槽船六(八〇〇噸級五

内一袋) 甲板上ニ舟艇三一四内一隻ハ飛行機二搭載一五〇〇噸級

一隻何レヲ滿載(驅潛艇四隻(驅潛艇大) 一

(ロ) 入泊輸送船二(八〇〇噸級滿載内一隻ハ甲板上ニ飛行機六一

七搭載) 驅潛艇三隻二

ニ一六〇〇ノコスソル水道情況左ノ如シ

輸送船十四隻 油槽船二隻 驅潛艇五大隻 一隻

通二一六六 呂一〇(一五七一) 三

鈴 太(吉)

昭和廿年五月五日

Handwritten marks and scribbles at the top right of the page.

五 四 受信二六三六 開始二〇一一 丁二〇三三 電〇二一七二 作 編

● パラオ第一空基地

● 五基地航空部隊 敵國情報着信場所

54 (circled)

● 三〇時根

機密第〇三一九二五番

取調機報 (五月三日)

三〇五三五ノ〇六一五 F四〇一延一〇機防空陣地ニ〇八二〇F四

F一三 一機本隊上空旋回

二視界内飛来機一機 二機ダグラス輸送機四機 他一八機

三戦果被害ナシ

三二四三六 早川中田 (一五六一〇七) 三 通 中田 (機)

昭和二十五年五月五日

五 四 受信一三二六 譯了一八四五 電〇二一四四 作 概  
 譯始一三四五

緊急

● 二六特根



● 二六特根戰團概報着信艦所・三南遣艦隊各▽・三南遣艦隊尸  
 機密第〇三二〇四一番電

六 五 戰團概報三日

一 單發二 〇八一〇ドチン灣〇八二〇ボバレ島各銃撃 〇三〇B-I二

四 五 機力ウ灣北進一七四〇單發二カウ灣來襲戰果被害ナ

三 ダルバ入港〇八〇〇T大型一小型一(孰レモ滿載) 上陸用舟艇三六

隻〇八三〇〇一D一・一五五〇T大型一(滿載) D一碇泊一八〇〇

T大型一五中型五小型四大型油槽船一病院船一〇一D六艦潛艇一海

虎二五魚雷艇一〇上陸用舟艇大型一四〇船七三出港一〇發進機針路

北乃至西大型二〇飛行艇二中型三計二五

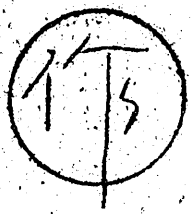
通二二五〇 呂一Bラ十八(一八三六七五K)二一通 川本(小澤滿)

昭和廿五年五月五號



五四 受信〇九一六 譯了一四一〇 電〇二〇六六

昭和四年五月五日



二三根戦闘概報着信艦所

機密第〇四〇一三五番電

二十三根戦闘概報第七五號

一三日一一二二 四發六機北東ヨリ侵入「マロス」飛行場投弾「約六

〇發」後北方ニ去ル被害滑走路被彈

二一二四六 四發二機北東ヨリ侵入リンブン・ライカン上空旋回偵察

後北東ニ去ル

三一三一〇B十二四 一機北方ヨリ超低空ニテ侵入「マカツサル」港

外船舶ニ對シ機銃掃射一四一二北東方ニ墜退戦果ナシ 被害一四四

歸交通船炎上

四一四〇九 四發二機北方ヨリ侵入「マロス」上空旋回後一四一五北

通二一七〇 呂一Bヲ十八(一八三六七五機)二一通 森(森)田

東ニ去ル

五 一六四〇 四發二機北東ヨリ「マカツサル」半島南岸沿ヒニ侵入一  
六 四五「マカツサル」南西海上ヲ通過ニユ一ギネア東印度ノ方向ニ  
向フ。

昭和廿年五月五日

五四 受信一二五六 譯始一四〇〇 譯了一四三〇 電〇二〇八一 作概〇



共符

海護線口・黄海方面部隊。一〇二戰隊P・一護衛艦隊P・鎮警・青根P  
旅根P

機密第〇四〇六〇〇番電

黄海方面部隊電令作第四〇號

一、第一九號驅潛艇ハ五日一二〇〇大東灣着ノ豫定ノ油槽船第一三ホウ  
來丸ヲ長山串ノ北方三〇哩附近ヨリ荷衣島迄護衛スベシ後第二一號  
驅潛艇ハ同地〇八〇〇出撃大青島ヲ基地トシ六〇二一及六〇一九航  
路ノ警戒ニ從事スベシ。

通二二四七 天二〇ケ八（五二〇〇KG）佐通

野木（山中）

1794

人

五 四 受信一一〇三五 譯始一一三五 譯了一二二五 電〇二〇二一 航作機本〇

至急



霞ヶ浦、元山、大村各航空隊 航本總務部。一二聯空。相模、第二相模航空隊

機密第〇四〇七四七番電

一〇A 信電令第一九號

一〇A 電令第二二號中元山空及大村空ヲ何レモ霞ヶ浦航空隊

ニ渡ス

元山空司令及大村航空隊司令ハ夫々第一第二相模野航空隊派遣員ヲシテ依然整備ヲ繼續セシムベシ

三、霞ヶ浦航空隊司令ハ成ルベク遠ニ分隊長及整備員ヲ派遣前項整備ヲ繼承セシムベシ

通二二〇〇 呂一Bケ一(一〇二六五) 咲花(小澤) (一〇A) (F) (P)

1795

昭和五年五月五日

五四 受信一三二八 譯始一三二八 譯了一三四〇 電〇二〇二〇 作概

作戰緊急



鹿屋航空基地

宮崎空基地

一機動基地航空部隊戰團概報着信艦所

機密第〇四〇八三二番電 三命ノ一

七六二部隊戰團概報第二號 (五月四日)

攻四〇一飛行隊及攻五〇一飛行隊銀河六機沖繩泊地附近敵艦船攻撃ノ爲〇〇〇〇一〇〇一五宮崎基地發進一〇一〇二五〇北中飛行場沖ニ於テ巡洋艦ヲ雷撃中眞ニツトナリテ轟沈スルヲ確認ス他ニ〇三〇〇同地點ニ於テ火柱一ヲ認ム一〇二〇三〇〇同地點ニ於テ輸送船ヲ雷撃效果不明

(電信課註、本電二分ノ二未着)

通二二〇六 呂一Bケ七(七八K)一KFG B放 岡野(川崎)

昭和廿年三月五日

人

五

四

受信開始

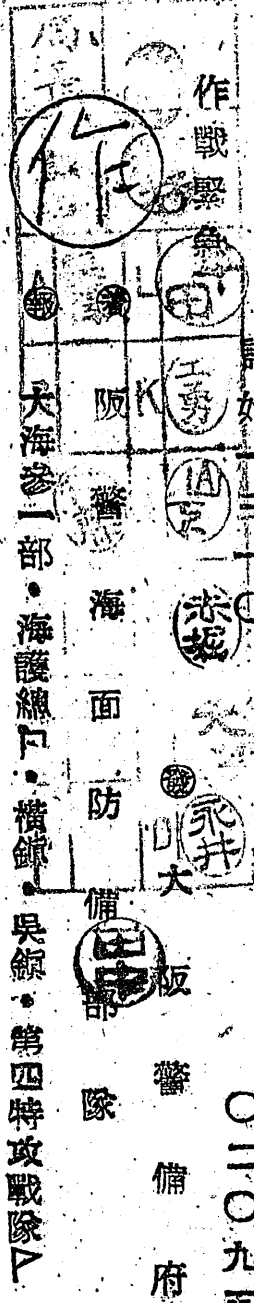
一三三五

一四三〇

電〇〇二〇九四

作概〇

昭和廿年五月五日



機密第〇四〇九三三番電 二分ノ一二

宛 神戸大阪港湾警備部隊指揮官

通報 中部軍串本派遣隊指揮官

信電令作第一一號

一、四日〇二二〇頃敵機明石海面及大阪神戸港外ニ機雷敷設疑アリ

二、神戸大阪港湾警備部隊指揮官ハ成ルベク速ニ各擔任海面第一水道

泉灘攝津水道附近ニ於ケル水深五〇米以上ノ地区ヲ除ク磁氣機雷掃

海ヲ實施スベシ

三、大阪警備府海面防備部隊指揮官ハ磁氣機雷掃海隊四組ヲ神戸ニ派遣神

通 戸港警備指揮官ノ指揮下ニ入ラシムベシ

三三三〇六七

天二Bケ六一

(B) 阪警

久保田(松山)

五 四 至 急

受信一五三〇五九二

譯了一五四二

電〇〇二〇九七六

航作概本

〇

共

符

東京通信隊

舞道・大分、小松、美保各空基地

機密第〇四一〇〇一番電

二分ノ一二

發 五 A F 參謀長

航空本部總務部長

通報 軍令部第一部長 軍令部第二部長 西海空司令

舞鶴守府參謀長 第三十一航空廠

第三十一航空廠擔任ノ裏日本航空基地ニハ現ニ當隊兵力ノ訓練及作戰準備ノ爲多數ノ飛行機隊駐在シアル所逐次要修理能力トシテハ之ガ消化困難ト認メラルルニ付至急之ヲ增強方然ルベク取計ハレ

二二六六八

呂一Bケ一一(三八二〇) 鹿屋

吉川(久保田)

昭和廿五年五月

尙右ノ外駐在管艦隊兵力左ノ通

美保基地一式陸攻約四〇機銀河約三〇機彗星三六機小松基地一式陸攻  
 五〇機尙大分基地ノ新川基地ニハ美保現駐ナリシ景雲ヲ分駐ノ豫定又  
 米子基地ニハ彩雲及零戦ノ若干ヲ配備ノ豫定。



五 四 受信一七四四 譯了二二〇〇 電〇二二〇〇七 作 編  
譯始二〇一〇 譯了二二〇〇 電〇二二〇〇八 作 編



五 基地航空部隊戰團機報着信處所  
一 機動基地航空部隊・一三航空艦隊口  
機密第〇四一〇二三番電 二分ノ一、二

南部攻撃部隊戰團機報(三日)

一 銀河三機中一機發動機不調引返ス一機〇三五五攻撃セルモ歸途螺  
溪河口ニ不時着戦果未詳一機〇三三〇攻撃效果不明〇七〇〇大分  
ニ着陸

二 一式陸攻五機(内三機K特七〇一)九六式陸攻二機(K特七〇一)  
〇三四五ノ四七七飛行場攻撃七〇二陸攻一機攻撃ニ北飛行場ニ  
向ヒタルモ其ノ後消息不明

通 二三八六 呂一B分十一 (七五五六五) 蟹ヶ谷通  
二三八七 (一一三四七五) 五FGB放 吉井(川崎)  
甲田

三北飛行場西側海上ニ終始燈火及黑煙ヲ認ム

四本日四七二飛行隊北飛行場攻撃ニ向ヒ〇九三〇迄ニ六機歸着

戦果 陸上施設一箇所大火災一箇所爆発一箇所小火災

昭和廿年五月六日

五 五四 開始 〇〇五二 譯了 〇〇五〇 電 〇二九五〇 作 概

至 急



五基地航空部隊戰團概報着信機所

一機動基地航空部隊 一三航空艦隊

機密第〇四一〇二二三番 二分ノ二

〇八〇〇迄ニ大機動着 戰果炎上八箇所大火災一箇所爆發一箇所

七〇二陸攻一機攻機後ニ向ヒタルモ其ノ後消息不明

三北飛行場西側海上ニ終始燈火二箇點燃セルヲ認ム

四本日陸攻本機北飛行場攻撃ノ豫定

(電信譯註 本電二分ノ一未着)

二五二三 皇一八々十一 四七〇五 高

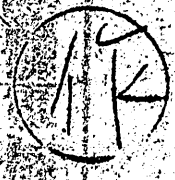
澤 (久保)

人

五 五  
受信開始 〇〇八三五  
譯了 一〇〇〇  
電電 〇〇二五五  
七六

昭和廿年五月六日  
航空作  
概本特〇

東京、高雄、大和田、一〇、二一各通信隊



機密第〇四一〇四八番電 二分ノ一、二

大海特務班長

二十九日、イコン來襲ノ、一、二、五、密文書ニ依リ、非島空軍爆撃報告

様式左ノ如ク判明セリ

一、目標名

二、爆撃時刻 (工時時刻帶)

三、戰果 (視認セル爆撃又ハ火災並目標命中率)

四、邀撃戰鬥機數

通二六三四 呂一、ラ十八 (六二三五) 一〇編 志澤、長谷川 (三石)



五四 受信 始 二六三五 譯了 二二〇〇 電 〇〇二二八二 作 機

至 急

第一機動基地航空部隊天城岡嶺報告信艦所

無線電所用共通符號



機密第〇二二二一八番電 二分ノ二

KHGB B二九 激撃戦岡嶺報第四號

五月三日一四一八ヨリ一五三六迄B二九 六二機侵入(鹿屋二八

機宮崎二二機國分一二機)鹿屋 笠ノ原及國分宮崎飛行場攻撃

雷電二二機紫電二機零戦二五機上空

戦果 空中戦闘ニ於テ撃破八機(都井崎ニテ撃墜一機確認)

被害 (宮崎基地ヲ含マス) 火上雷電一 零式輸送機一

未歸還雷電三 墜落雷電一(搭乗員落下傘ニテ降下輕傷)

五月三日一九五〇B一二五ラシキ中型機三機超低空ニテ南行鹿屋

二二四〇二二二四〇六 呂一〇ケ一(七八七五機)KHGB放

福山・小野寺(小川)

基地航爆撃(奇襲)

被害 炎上一式陸攻零式輸送機各一 死傷二五名

戦果 ナシ

II

五 四

受信一七四〇  
譯始二〇〇〇

譯了二一四〇

電〇〇二二二一一

參作  
本概

吳

吳

佐伯航空隊



海上護衛隊司令部・機動基地航空部隊・串良航空隊

機密第〇四一二五八番電 二分ノ一、二

佐伯航空隊戦闘概報（五月四日）

一、〇九〇五―〇九一五B―二九計九機來襲飛行場並ニ軍需部地帯

ニ投擲約一〇〇個

ニ戦果ナシ

三被害（一二〇〇迄ニ判明セルモノ）

（イ）飛行場南半地區被彈八五（半致未發彈ニシテ時々爆發）使用

不能

（ロ）人員

二二三八二

呂一〇〇一―B

横濱

奥山子（小澤凌）



(一) 佐伯航空隊戰死九名重傷三〇名（内見習尉官一名）

(二) 陸軍（將校准士官以下ノ順）

戰死一・四 重傷二・五 輕傷〇・一

(三) 機材及施設

(一) 東海三夫破陸上隊指揮所一空格納庫一空倉庫一養畜場一各炎上

(二) 陸軍戰闘機炎上五

(三) 其ノ他ニ於テ被撃ナシ軍需部空地爆彈一一發建物ニ異狀ナキ模様

四其ノ他

(四) 當時在空陸軍戰闘機ハ大分ニ降着

(五) 一二〇〇迄ニ炸裂セル時限爆彈一一發・概テ四八時間經過セシテ全力飛行場修復ニ着手ノ豫定。

(二)

人

至 五 四 急

受信一九五七  
開始二二一二

譯了二三五〇 電〇二三一八

概

宇佐航空基地



一機動基地航空部隊天作戰部隊戰闘概報着信處所

機密第〇四一三三八番電

七〇六部隊戰闘概報（五月四日）

鹿屋空陸攻四機三日二三三〇宇佐發進一機發動機不調ノ爲引返ナル外  
〇四〇〇乃至〇四三〇爆撃終了一二三〇迄三機歸投戰果一機大火  
炎（物資集積所）一炎上一機伊江島飛行場攻撃ノ果不明被害機彈ノ  
爲着陸時中破一機〇四二〇以後一機消息不明。

通二四八八 呂一Bヶ一一（七八七五）一KGB放 東（田中）

五四 受信一九〇八 譯了二二一〇 電〇二一九〇 作 77

大臣 總長

聯合艦隊口・八基艦航空部隊・五航空艦隊口・一〇航空艦隊口・佐鎮各部隊

機密第〇四一三五四番電

佐鎮戰鬥概報（五月四日）

一 四日〇八〇〇頃南都ヨリ侵入セル機一機ノ一部ハ新列島西北方

ニ於テ集結爾後一機及九機ノ二群ニ分レ五島列島上空ヲ経テ〇

八五五大村ニ來襲投彈後南東方ニ脱去セリ

二 戦果ナシ

三 被害輕微ナリ。

山二四二二 島一四七（六七）（三二）（一四）

通二七五三  
通二七五二  
通二七五二

天二五十一

(五二九五〇)

六〇〇放

長谷川、伊藤(三石)

海峽東口並三下關海峽東口並二西口各水道航行禁止中尙同時刻能登  
 島ノ方向三〇機和シシ離友ケ島水道紀伊水道附近ヲ一〇機内外ス防  
 離鹿屋ヲ行動シ陸上ニハ神戸ニ備燒夷彈四發爆彈四投下セルノミナ  
 ル狀況ニ鑑ミ同海面ニ機雷ヲ敷設セル疑ヒ濃厚ナリ

第二機軍司令部船舶司令部  
 海上護衛司令部機雷情報第一九號



聯合艦隊口・支那方面艦隊口・六艦隊口

機密第〇四一五二六番電

三分ノ一、二三

五五 受信〇五五三  
譯始〇七五五

譯了〇八五〇

電自〇二四六一  
至〇二四六一

符

東航運作概  
在本本〇

昭和十一年五月六日

三〇一准（掃海水道内）ニテ觸雷小破三日一六五五〇船淀川丸（八八  
 三噸）六連島ノ一五辰三五〇〇米（掃海水道外）ニテ觸雷浸水セリ  
 三〇一准（掃海水道内）ニテ觸雷小破三日一六五五〇船淀川丸（八八  
 三噸）六連島ノ一五辰三五〇〇米（掃海水道外）ニテ觸雷浸水セリ  
 三〇一准（掃海水道内）ニテ觸雷小破三日一六五五〇船淀川丸（八八  
 三噸）六連島ノ一五辰三五〇〇米（掃海水道外）ニテ觸雷浸水セリ

五

五

受信開始 〇〇一〇一五

了 〇三五〇 電 〇二四一〇

作概 〇

昭和廿年五月五日



七艦隊司令部 下関防備隊  
海防線内 航空基地

鎮海警備府

機密第〇四一七二號電

發 謀長

五月一日日一八九ハ北緯三四度一五分東經一二六度一五分附近ニ機雷敷設ノ疑アリ海防總司令部第四二六號ニ依リ下関防備隊派遣中ノ艦隊兵力ハ右海防ニ是非必要ニ付至急復歸セシメラレ度。

通 六〇三 天二五十一 佐 井 (松山)

五四 受信開始 〇二一〇五〇八 丁〇三三〇 電〇二三〇〇 作本

緊急

共

符



- 東通・横通・?・?
- 小笠原部隊

機密第〇四一九四一番電

發 南島島指揮官

受取者 第一六潜水隊司令

着信者 横隊司令長官 司令部次長 參謀次長

守備部隊戰術概報（五月四日）

一、一〇三 B I 二四 一機偵察後退去

二、一五〇五探知續イヲ B I 二四・一一機來襲雲上ヨリ投彈一五五〇七去

三、發射彈數戰果ナシ

通二五六二 呂一 B 〇十八一五一〇〇〇 南響 久保田一高

1814

四被善糧食庫一直擊一損害輕微一幕舎大破一國軍乘用車一破壞使用不能

並其ノ他目下時辰爆彈爆發シツツアリ滑走路幹線明五日午前中ニ修理完了ノ見込ナリ。



停

緊急

五回 受信二二三〇〇 譯了〇〇一五 電〇二二七四 作 藏

一機動基地航空部隊戰鬥機報告信送所。大村航空基地

吳 鎮

機密第〇四一九五三番電

二分ノ二二

松山基地戰鬥機報告(五月四日)

一〇八〇八B一八九八機 〇八二三B一八九 二二來襲主トシテ

施設地帯ニ投彈

三戰果ナシ 可動戰鬥機零ナル爲邀撃ヲ實施シ得ズ

三機撃死三機三空九名(内准士官以上二名) 一機工廠工員九名具

工廠工員二名 重傷三回三空二名 工員五名 輕傷三回三空七名

正員四名兼官並兼職改各一機機失其ノ他被害輕微ニシテ飛行場ハ

全面的使用差支ナシ

編二六六八 呂一七( ) 吳道 長谷川(三) 谷( )

6181

臨時便乗員ノ  
毎明白ノ實動員數ノ實動落乗員數ノ宗電政六ノ三ノ。

五 五 受信一三〇四三 譯了二三一六 〇〇二九六八 作 概



● 大本營海軍部・海軍省・一商運艦隊 〇  
● 泰國在勤帝國大使官附武官。一四營ナンコウリ派遣隊  
海 警

機密第〇四二〇四六番 三分ノ二、三

(イ) 一タンミヤシ貯油所貯油槽(一萬瓩)タンク六・二・三〇〇瓩  
クニ・五〇瓩タンク二)並ニ附屬施設全壞重油二・七二〇瓩輕油九  
〇〇トン炎上

(ロ) 一ナベ貯油所一・四六瓩一タンク全壞輕油六〇〇瓩炎上

(ハ) 海軍工作部被爆既ハ再廣爆撃ニシテ被害輕微

(ニ) 電探防空隊兵二名重傷。

(三) 電信課註 本誌三分ノ一未詳

通二八四九 天一五ヶ六(一七五九〇KG) 十 菅原(久保田)  
二八六二